

行岡保健衛生学園 自己点検自己評価表(2024 年度 令和 6 年度)

学校名：行岡医学技術専門学校

学科名：看護第 1 学科

記入者：吉田 菊江

1. 学校の教育目標 学生便覧 P2、P67～P81・授業計画 P2～20

1. 人間を成長・発達・変化している身体的・精神的・社会的・霊的(スピリチュアル)に統合した存在として幅広く理解する能力を養う。
2. 対象を中心とした看護を提供するために、看護師としての人間関係を形成するコミュニケーション能力を養う。
3. 看護師としての責務を自覚し、対象の立場に立った倫理に基づく看護を実践する基礎的能力を養う。
4. 科学的根拠に基づいた看護の実践に必要な臨床判断を行うための基礎的能力を養う。
5. 健康の保持・増進、疾病の予防及び回復に関わる看護を、健康の状態やその変化に応じて実践する基礎的能力を養う。
6. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割及び他職種の役割を理解し、多職種と連携・協働しながら多様な場で生活する人々への看護を提供する基礎的能力を養う。
7. 専門職業人として地域の健康問題に目を向け、最新知識・技術を自ら学び続け、看護の質向上を図る基礎的能力を養う。

2. 学科の教育目標

授業計画各科目目標 P9～P16 、P21～

実習要項の各看護学実習目標 P63～

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業 界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・ディプロマポリシーを具体的に示す。
- ・保護者との情報共有を増やす。
- ・18歳人口減少、大学進学増加に伴い定員確保。

② 今後の改善方策

- ・カリキュラム評価で、具体的なディプロマポリシーの立案。
- ・年2回ほど保護者説明会を実施し、学校の状況を伝達、協力を得る。
- ・HPに学校や系列病院の強みを打ち出す。
- ・実習指導体制（指導者が学生に指導できる状況にする）を整備し、効果的な経験ができるようにする。

③ 根拠資料

授業設計

入学時保護者会：年1回、問題発生を予測し早めの3者面談を実施している。

国家試験への保護者支援協力依頼について郵送している。(年2回)

募集・入学状況：募集1.8倍、入学生80名(100%)、学力の2極化がある。

実習病院概要：実習要項

④ 特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 ③ 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 ③ 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

① 課題

出席管理の一元化

② 今後の改善方策

インフォクリッパーで事務の ICT 化。教務事務が専念。

③ 根拠資料

教育課程 カリキュラム実施状況
 学生便覧（学校組織に関する規程）
 YouTube チャンネル、ブログ投稿
 研修受講状況

④ 特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	4 ③ 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 ③ 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 ③ 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 ② 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

① 課題

- ・職員的能力開発のための研修等が各自にまかされている。

② 今後の改善方策

- ・専門領域の教育の質向上、継続的な学習の具体的な支援。

③ 根拠資料

- ・教員数、研修受講状況
- ・教育課程（計画・実施状況）
- ・授業評価（授業科目、実習） 卒業時評価

④ 特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・学力の二極化、合格率が 90%。
- ・母体病院へ就職者数に変動がある。
- ・卒業生の社会的活動の把握が弱い。

② 今後の改善方策

- ・国家試験対策 1 年～3 年までのラダー計画に基づき実施。時間割に国家試験対策を入れ込み、国家試験問題を通して学習の仕方を教える。
- ・母体病院と協力し就職者を増やす。(母体病院の奨学金の早い決定。実習指導の充実。)
- ・卒業後のフォローアップ研修やホームカミングデイの継続。
- ・実習施設の看護部からの情報交換によりタイムリーな動向をつかみ、支援する。

③ 根拠資料

- ・進学：4 名 就職率：就職/国家試験合格－進学＝98.5%
- ・就職率
- ・研修受講状況、国家試験合格率
- ・退学率
- ・卒業後のフォローアップ研修、ホームカミングデイ、スクールカウンセリングに関する事項、国家試験対策

④ 特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

② 根拠資料

- ・健康管理規定
- ・就職指導年間計画表
- ・学年別面接計画
- ・カウンセリング実施状況
- ・日本支援機構奨学金制度、専門実践教育訓練給付金、実習病院奨学金制度
- ・ホームカミングデイ実施状況

③ 特記事項

- ・R8年度「こころの相談室」を設置し、学生支援をする。
- ・退学理由：進路変更（1年） 健康上の理由（3年）

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 ③ 2 1
・学内外の実習施設、インターシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・Wi-Fi 環境の整備がない。
- ・南海トラフなどの自然災害を見据えた防災訓練。

② 今後の改善方策

- ・Wi-Fi 環境の整備。
- ・実践的な災害・防災訓練、学生の学内における物資のローリングストックについて指導する。

③ 根拠資料

- ・学内外の実習施設の教育体制の整備：実習要項
- ・防火訓練実施、大阪 880 万人の訓練に参加
- ・在宅訪問看護ステーションや実習施設のインターシップへの参加状況
- ・災害に関連した物品購入（ポータブル電気、バッテリー・ソーラーパネル・蓄電器、保存食など）

④ 特記事項

- ・学内外の実習施設について十分な教育体制の整備：実習施設は大阪府に申請し実地調査後承認を受けている。（指導要領で整備すべく、実習指導者の要件や図書の整備、更衣室、討議室、必要備品の整備など）
- ・就職活動と関連させて、在宅訪問看護ステーションや実習病院等のインターシップに参加している。

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・18歳人口の減少・応募者の減少。受験生が合格決定を早期に希望している。
進路決定には、保護者や学校の先生の影響が大きい。

② 今後の改善方策

- ・学生目線にたったOCの実施を18日(32回)実施。保護者への丁寧な説明。
- ・早期の高校訪問。(面倒見の良い所のPR、学校・生活紹介一覧・在校生レターの更新)

③ 根拠資料

- ・募集要項。
- ・応募状況。
- ・指定校。

④ 特記事項

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

特記事項

① 課題

② 今後の改善方策

③ 根拠資料

④特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 ③ 2 1

① 課題

② 今後の改善方策

③ 根拠資料

R5 年度自己点検自己評価、関係者評価の実施、公表した。

特記事項

・毎年保助看法の14条報告の実施、保助看法に逸脱していないかの確認がある（カリキュラムの実施状況や教員の要件、入学者数・卒業者数、実習施設の確認など）。

- ・ハラスメント防止・対策ガイドライン作成
- ・修学上の合理的配慮について作成

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・地域貢献の継続。

② 今後の改善方策

- ・クリーン活動の継続（行岡病院・学校内外、通学通路、地域のゴミ拾い）年3回
- ・大阪市北区「種から育てる花図づくり事業」に参画 年4回、北区のニーズを把握し地域で求められる活動をする。

③ 根拠資料

- ・上記の実施状況

④ 特記事項

- ・認知サポーター場所として認定された。授業で、養成講座を取り入れた。
- ・行岡病院の卒業後教育の一環として、「人工呼吸器蘇生人形」「AED」採血練習用「血管くん」を貸し出し、活用していただいている。
- ・当校「歯科衛生科」の学生に向け講義を実施している。
- ・高校への出前授業。
- ・実習病院との年1回の講演会（コロナ禍以降中止）や指導者会（年数回）などを通して交流している。

2024 年度（R6）看護第 1 学科 関係者評価

○日時：2025 年 5 月 29 日（金）

14:00- 説明

14:15-17:00 評価・講評

○場所：看護第 1 学科 5 階演習室

○関係者評価者：

1) 大阪府済生会中津病院 看護部長

2) 大阪医療センター附属看護学校 副学校長

○当校教職員出席者：吉田副学校長、安斎教務主任補佐、村上実習調整者

○実施内容：書類審査（学校関係者評価 評価表）

実地調査（施設見学）

講評

○準備資料

- ・ 学校関係者評価 評価表
- ・ 各学科自己評価表
- ・ 各学科自己評価表根拠資料
- ・ 学校案内、募集要項、学校要覧等教育内容を示す印刷物

行岡保健衛生学園 関係者評価(2024 年度 令和 6 年度)

学校名：行岡医学技術専門学校

学科名：看護第 1 学科

記入者：大阪府済生会中津病院 看護部長

総評：

- ・学生の確保に向けて、入学試験の方法、募集方法の工夫をされていることが確認できました。
- ・入学後の学生の学力アップに向けて、保護者との情報共有と保護者からの支援、面談等を実施し、取り組まれていることは、評価できます。
- ・多くの施設に実習に行かれていますが、各々の施設の特徴を把握し、実習指導に取り組まれていることがわかりました。
- ・学生確保から、確保した学生の学力アップ、人間性の成長など、様々な取り組みをされていることがわかりました。
- ・課題を解決し、さらなる特色ある学校になられることを期待しています。

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業 界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

特記事項 なし

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され ているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 ③ 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備さ れているか	4 ③ 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整 備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られている か	4 ③ 2 1

特記事項

なし

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	4 ③ 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 ③ 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 ③ 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 ② 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

特記事項

なし

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

特記事項 なし

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1

・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1
---	---------------

特記事項

- ・意見箱の設置はされたほうがいい。

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 ③ 2 1
・学内外の実習施設、インターシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

特記事項

- ・Wi-Fi 環境の整備が望ましい。

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1

特記事項

なし

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

特記事項 なし

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

特記事項 なし

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	④ 3 2 1

⑤ 特記事項 なし

行岡保健衛生学園 関係者評価(2024 年度 令和 6 年度)

学校名：行岡医学技術専門学校

学科名：看護第 1 学科

記入者：大阪医療センター附属看護学校 副学校長

総評：

非常に努力して学校運営に取り組まれていると思います。

自己評価及び他者評価の実施を次に生かされていると思います。

入学生の確保が困難な中、学力の二極化も著しい状況であるので、入学前からの学習支援を強化されるとよいと思います。

Wi-Fi は必要となっている状況ですので、学習環境の改善のため、ぜひ Wi-Fi 環境の整備に取り組まれるのがよいと思います。

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業 界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

特記事項 なし

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され ているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 ③ 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備さ れているか	4 ③ 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整 備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られている か	4 ③ 2 1

特記事項

なし

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	4 ③ 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 ③ 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

特記事項

なし

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

特記事項 なし

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1

・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1
---	---------------

特記事項

- ・意見箱の設置はされたほうがいい。

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 ③ 2 1
・学内外の実習施設、インターシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

特記事項

- ・Wi-Fi 環境の整備が望ましい。

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1

特記事項

なし

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

特記事項 なし

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

特記事項 なし

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

⑥ 特記事項 なし

2024 年度 行岡保健衛生学園 自己評価表

学校名：行岡医学技術専門学校

学科名：歯科衛生科

記入者：鈴木 亜紀

1. 学校の教育目標

本校の教育理念は、「適応力豊かな医療人の育成」と「協同の精神とその実践」

2. 学科の教育目標

「適応力豊かな医療人」を目指すうえで学生には、科の教育目標は「成し遂げる力」を養うことである。

「協同の精神」を達成するためには

- ・医科歯科連携を図るためのレディネスを高めること
- ・歯科衛生士になるという強い意思をもつこと
- ・相手を思いやり、寄り添う気持ちをもつこと

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業 界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

① 課題

学校の理念、目的等は入学前のオリエンテーション（学生・保護者説明会）にて周知しているが、保護者会の参加者が少ないことが課題である

② 今後の改善方策

保護者会の必要性について、オンライン等を利用しながら確実に伝えすることに努める

③ 根拠資料

④ 特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 ② 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 ③ 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

① 課題

教員数が不足しており安定した教育の質保証が保てない

② 今後の改善方策

新しい教員を迎え、安定した教育の質保証を保つ

③ 根拠資料

④ 特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4 ③ 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	4 ③ 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 ③ 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 ② 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

① 課題

- ・教員不足のため教材研究などが停滞している

② 今後の改善方策

- ・教員充足
- ・既成の教材なども使用しながら質の向上を目指す

③ 根拠資料

④ 特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・国家試験合格率 100%が目標
- ・卒業後のネットワークが乏しい

② 今後の改善方策

- ・同窓会の立ち上げ

③ 根拠

④ 特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	④ 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・卒業生への卒業後研修が実施しているが、不定期である。今後増やしていきたい。

② 今後の改善方策

- ・卒業生の勉強会などの回数を増やす
- ・卒業生への研修（時代のニーズに即した）を計画していきたい

③ 根拠資料

④ 特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 ③ 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

① 課題

経年劣化により使用に制限のある教育教材がある。

防災について外部講習などはしているが日常に特化した訓練が不足している。

② 今後の改善方策

シミュレーション演習を行いより具体的な防災訓練を実施する

③根拠資料

④特記事項

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 ③ 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・学生募集活動は適正に行われていると考える。しかし、教員不足により、体験学習の種類が減少傾向である。

② 今後の改善方策

- ・教員充足をし、体験型を充実させていく。
- ・在校生にも募集活動に参加させ、生の声を届ける。

③ 根拠資料

④ 特記事項

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ③ 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 ③ 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 ② 1

① 課題

学生募集が定員に満たない

② 今後の改善方策

来校者の満足度を高め、オープンキャンパス等の充実を図る

③根拠資料

④特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

自己評価結果を受け改善をしなければならない。

② 今後の改善方策

自己評価を把握し次につなげる。

③根拠資料

④特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・保育園、小学校への歯の衛生週間指導の充実
- ・地域貢献が少ない

② 今後の改善方策

地域貢献を実施していれば連携を図り、支援できる体制を考えていく
地域の清掃活動に参加する。

③根拠資料

④特記事項

2024 年度 学校法人 行岡保健衛生学園 学校関係者評価

実施日 2025 年 3 月 22 日（土曜日）14 時 00 分～16 時 30 分

場所 行岡医学技術専門学校 6 階 演習室

学校名： 行岡医学技術専門学校

学科名： 歯科衛生科

評価者：

①M・S 氏

★★歯科医院 （臨床実習施設）

②N・M 氏

■■病院（臨床実習施設） （卒業生）

<講評>

2 名の評価者ともに本科の教育ならびに取り組みに対して、適切であると評価して頂いた。その中でも評価基準が「やや適切」、「不適切」と評価された項目から課題と今後の対策について以下にまとめる。

【課題・今後の対策】

*教育活動

【課題】

少人数制教育が特色の貴校だが、教員の数が不足していると考ええる。
教員が疲労困憊の様子では、学生が質問や相談に来にくいのでは？

【今後の対策】

専任の教員だけではなく、補助教員も増員していく必要があるように感じた。

*学修成果、学生支援

【課題】

学生に対する支援は手厚いが、マンパワーが不足しているように感じる。
個人面談により救われる学生も多いことから、その時間を取れるようにしたい。

【今後の対策】

在学中に面談を通して、学生の特性、強みを把握し正しいキャリア形成を促進させる。そのためにも教員補充は不可欠と考えている。

***教育環境**

【課題】

学内実習において教員が少ない、学生全員への行き届いた対応が困難である。

【今後の対策】

教員を補充し安定した教育環境をととのえる。

***社会貢献・地域貢献**

【課題】

学生の校外の活動について（ボランティアなど）

保育園、小学校だけではなく、地域への“歯科衛生”に対する歯科衛生の啓蒙活動をしていったらどうか

【今後の対策】

学校の教育資源や施設を利用した社会貢献は殆ど実施していない。

今後は地域住民への公開講座等を検討していく。